

特定非営利活動法人ともに
令和 4 年度通常総会

日時 令和 4 年 5 月 20 日（金）

場所 [書面開催]

審議議案

- | | |
|---------|-----------------------|
| 第 1 号議案 | 令和 3 年度事業活動報告に関する件 |
| 第 2 号議案 | 令和 3 年度決算報告・監査報告に関する件 |
| 第 3 号議案 | 令和 4 年度事業活動計画（案）に関する件 |
| 第 4 号議案 | 令和 4 年度予算（案）に関する件 |
| 第 5 号議案 | 各種規程の改定に関する件 |
| 第 6 号議案 | 定款の変更に関する件 |
| 第 7 号議案 | その他 |

<法人および各事業所の理念>

1、特定非営利活動法人ともに 法人理念

～ 自立を友に あなたと共に ～

私たちは、誰もが安心して生活できる社会を目指し、個性豊かな人のつながりを大切にしたい地域づくりに貢献します。

2、障がい者就労支援事業所ワークショップようてい 経営理念

私たちは、
一人一人の心の中にある、勇気の種、寛容の種、自信の種が
個性豊かに育っていくことをサポートします

- 経営姿勢：トライ＆エラー
- 行動指針 ①ともに学びともに成長する
②自己選択・自己決定・自己発信
③自信と自尊心の回復を目指す
④対話する力を身につける
⑤経験という実績を積み重ねる

3、グループホームよろこび 経営理念

私たちは、
障がいにより地域で生活してゆくの困難な人たちの伴走者となり、
寄り添いながらともに成長していきます

- 行動目標
①その人の過去から学び、今を見つめ
希望を持った未来へ繋がる支援を行います。
②「独り」になってはいないか・・・と、
思いやりと余裕の心で支援を行います。

第 1 号議案 令和3年度事業活動報告に関する件

令和3年度事業活動報告

1 活動の成果と課題

令和2年度から流行した新型コロナウイルス感染症は今年度も猛威を振るい、私たちの日常生活に多大な影響を及ぼし続けている。この1年間に北海道で出された緊急事態宣言は2回計71日間。まん延防止等重点措置は4回計105日間で、一年の約半分を行動自粛期間として過ごしたことになる。法人活動も多方面で制限されたが、障がい者及びご家族の生活を維持するという使命から、障がい者支援事業の運営継続に努めてきた。

今年度も法人職員にコロナ感染が発生したが利用者への拡大なく最小限の影響にとどめることができた。また、職員が安心して仕事ができるようコロナ関連の休業・休暇での賃金保証に取り組み、事業所運営の安定化が行えたといえる。

10月の監査実地指導により、災害対策や事故防止マニュアル及び利用者への説明の不備が指摘され改善につながったことは成果であった。

職員の賃金アップを目的とした国からの交付金・補助金を活用し3年ぶりの賃上げを行うことができた。利用者の利用数により収入が変動するため、よりよい支援を行い安定利用につなげることが課題である。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業報告1】参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業報告2】参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業報告3】参照

3 活動

- (1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

＜講演会・研修会・交流活動＞

◎みんなで学ぼうシリーズ…コロナ感染状況を確認しつつ、再開を検討する

再開時は、毎月第2水曜日の開催固定化し、倶知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催とする

| | |
|-----------|-----------------------------------|
| 実施内容とその結果 | ・コロナウィルス感染が終息せず、再開を検討することができなかった。 |
|-----------|-----------------------------------|

◎地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する

月1回（5月～11月）、全7回の予定

今年度も募集定員は10名と縮小する

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | ・5月～11月、全7回開催した ・定員を10名とし、換気等感染予防対策を実施した ・参加者は平均7名であった |
|-----------|--|

◎地域の支援者向けのWRAP「くらっぴ」は、会場変更を視野に入れ開催を検討する
開催時は、偶数月第4水曜日を継続する。

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | WRAPの特徴である飲み物やお菓子をつまみながらのスタイルは、コロナ禍では感染予防の観点から難しく、開催検討には至らなかった |
|-----------|--|

<広報活動>

| 活動項目 | 計画 | 実施内容とその結果 |
|------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 通信ともに発行 | 障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、定期的な発行を目指す | 新型コロナウイルスの影響及び担当者の育児休業により2回の発行であった |
| インターネット 媒体の充実 | ・ホームページ、ブログなどの随時更新に努める | ・ブログ、ホームページは不定期に更新した |

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

| 団体名 | 形態 | 活動内容 |
|--------------------------------|----------|--|
| 羊蹄山ろく地域自立支援協議会 | 参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業担当者会議 毎月オンライン出席 ・就労支援部会 毎月オンライン出席 ・知ってる会? 毎月オンライン出席 ・地域活動支援センター「夢の匠」サポート部会 6回出席 6回欠席 ・障がい者地域包括ケアシステム検討会 |
| 羊蹄山麓障害支援区分認定審査会 | 推薦 | 6回書面開催参加 |
| 後志圏地域生活移行支援協議会 | 委嘱 | 2回出席。 |
| 後志保健医療福祉圏域連携推進会議 | 委嘱 | 2回出席 |
| 倶知安町障害者施策推進協議会 | 推薦 | 1回書面開催参加 |
| 一般社団法人北海道精神保健福祉士協会 | 理事 | 北海道地区年4回理事会：オンライン出席 後志ブロック例会 毎月オンライン出席 |
| 一般社団法人北海道中小企業家同 友会しりべし・小樽支部 | 部会 役員 | 部会役員会開催なし。地区会オンライン出席1回 山麓地区会研修会欠席 |

(3) 講師派遣活動・実習受け入れ活動

<方針> 法人理念に照らし検討のうえ積極的に協力する。

| 派遣先・委託契約団体 | 月日 | 派遣場所および内容 |
|-------------------------|-----------------------|---|
| 特定非営利活動法人きなはれ | 6月24日 9月9日 2月3日 | サービス管理責任者更新研修 オンライン サービス管理責任者更新研修 オンライン サービス管理責任者更新研修 オンライン |
| 北星学園大学 | 中止 | 精神保健福祉援助実習 中止 |
| 北海道医療大学看護福祉学部臨床 福祉学科 | 3月3日 ~23日 | 精神保健福祉ソーシャルワーク実習 1人：WS・GH |
| 一般社団法人北海道精神保健福祉士 協会 | 5月29日 | 一般社団法人北海道精神保健福祉士協会全道大会 実行委員長 |
| 公益社団法人日本精神保健福祉士協 会 | 9月9~11日 | 公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会北海 道大会 分科会ファシリテータ |

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

＜方針＞法人活動に賛同していただける会員・寄付者を増員させる活動を進める。

| 活動項目 | 計画 | 実施内容とその結果 注（前年比） |
|------|-----------------------------------|--|
| 会員 | 正会員 20 人以上 賛助会員団体・個人合わせ 80 人以上 | 正会員 23 人（+3） 賛助会員団体 2（-4） 個人 43 人（-32） |
| 寄付金 | 目標人数のべ 20 人 | のべ 12 人（-4） 245,000 円（-371,000） |

＜考察＞

①賛助会員数が目標を達成することができず前年比でも 32 人（4割）減となった。

賛助会費納入者を賛助会員数としており、通信発行時に賛助会費未納者へ継続のお願い文書を送付してきた。通信担当者が 5 カ月間の育児休業でマンパワー不足により通信発行ができなかった。法人活動に賛同していただける {見える広報活動} に通信が大きな役割を果たしていることを実感した。マンパワー不足対策が課題である。

②寄付金も目標を達成することが出来なかった原因は①によるところが大きい。

また前年はコロナ対策支援金が国民に一人 5 万円支給された際に、法人活動への寄付金を多くいただいていた。

(5) 助成金・補助金等活用

＜方針＞利用者の作業活動等向上および業務改善を目的とした助成金活用

| 助成・補助団体名 | 金額 | 助成内容 |
|-------------|----------------|---------------|
| 北海道労働局 | 300,000 円 | 特定求職者雇用助成金 |
| 北海道労働局 | 332,500 円 | 両立支援等助成金 |
| 倶知安町 | 24,000 円 | 感染予防対策備品購入補助金 |
| 北海道 | 21,000 円 | 感染防止対策支援事業支援金 |
| 公益社団法人前川報恩会 | 不採用（890,000 円） | 福祉助成（除雪機） |
| 北海道共同募金会 | 申請中（790,000 円） | 赤い羽根共同募金（除雪機） |

(6) 認定NPO法人活動

＜方針＞寄付額に目標を定め、税金還付の利点を活かして寄付金獲得に努める

| 活動項目 | 計画 | 実施内容とその結果 |
|-------------|----------|------------------------|
| 寄付金獲得 | 具体的な計画なし | 目標を定めることができなかった |
| 寄付者への税金還付通知 | 1 月中に発行 | 寄付金受領証明書の発行 個人 6 人（-6） |

(7) 「わっくわく」地域開放の取組み

＜方針＞来年度以降の実行に向け、検討を重ね整備を進める。

| | |
|-----------|-------------------|
| 実施内容とその結果 | コロナ感染対策のため取組を保留した |
|-----------|-------------------|

(8) 借入金返済について

＜方針＞法人の黒字化をめざし計画どおりの返済を行う

| 活動項目 | 区分 | 実施内容とその結果 |
|-------|-------|------------------------|
| 長期借入金 | 役員・個人 | 3件契約通りに返済実施できた。 |
| | 金融機関 | 1件返済完了。1件契約通りに返済実施できた。 |

(9) 職員の働く意欲向上の取り組みについて

| 活動項目 | 計画 | 実施内容とその結果 |
|------------------------------------|---------------|--|
| キャリアパス制度の研修制度および評価制度を再構築し、制度の充実を図る | 研修制度 | 計画に基づき毎月実施できた |
| | 評価制度 | 再構築できなかった |
| | 職位昇格 | WS・GHの主任選任ができた |
| 福利厚生を予算化し、働く環境の整備をめざす | 休業・休暇・自宅待機の運用 | コロナ感染対策休業の10割保証及び制度研修会実施で職員の意識向上ができた |
| 職員が「自分もここを利用したい」と思えるような各事業をすすめる | 職員研修・職員会議の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修は実施できた。 ・職員会議はWSができたがGHはできなかった。 ・離職者がいない年度になった。 |

(10) 防災対策について

| 活動項目 | 計画 | 実施内容とその結果 |
|------------------------|---------------|---|
| 新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底する | 国・道の方針の周知 | 朝礼で職員に周知した |
| | 法人マニュアルの整備と周知 | 法人職員向け・WS利用者ご家族向けに作成し配布したがGHは作成中である。 |
| | 日常の感染対策を徹底 | 毎日の消毒・マスクチェックを実施 マスク、手洗い、三密避ける行動などわかりやすいポスターを工夫し利用者への周知徹底に努めた。 |
| | 感染時の対応 | 保健所と連携し利用者職員の検査や関係機関への報告など迅速に対応できた |
| 防災対策 | 火災訓練を年1回以上実施 | 専門業者の協力で1回実施した。 |
| | 事業所単位の防災教育実施 | コロナ感染対応で実施できなかった。 |
| 地震、洪水を想定した防災訓練 | 事業所単位で年1回以上実施 | WS・GHで各1回実施した。 |

【個別事業報告 1】

令和3年度

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい（WS） 事業活動報告

1 活動内容と結果

(1) 基本方針

◎事業所の体力に合った事業計画にのっとり、充実した支援を図る

| | |
|-----------|---|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策を優先し密になる取組は自粛した。 ・各部中心のレクを企画実施し利用者の交流願望実現に向け取り組んだ。今できることの取り組みを考え実行したことは、不十分ながら評価できると考える。 |
|-----------|---|

◎各職員の役割を明確にし、責任とやりがいを持つことができる事業所を目指す

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の職員ミーティングと不定期ではあるが職員会議の中で、事業所全体の動きや課題を確認し合い対策を共有できた。 ・各職員個々の役割の明確化はできていない。 |
|-----------|--|

(2) 就労移行支援のサービス提供について

◎積極的な一般就労を目指す支援をおこない、今年度も就職へ向けた支援をおこなう

| | |
|-----------|---|
| 実施内容とその結果 | <p>コロナ感染対策を取りながら企業や利用者・ご家族との面談や連絡調整を行い2人就職した。</p> |
|-----------|---|

◎実践的なトレーニングプログラムを継続する

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <p>就職活動に向けたトレーニングプログラムを継続し毎月実施した。3密を避けるため同じ内容で月3回行ったが、利用者の参加状況で中止した会もあった。前年度と同様「社会的マナー」や「仕事をする目的」など基礎的な内容を中心に行なった。就職面接に向けた履歴書の作成指導やハローワークへの同行は、前年度よりわずかに増えてきた。</p> |
|-----------|--|

(3) 就労継続支援B型のサービス提供について

◎他機関に働きかけ、新規継続支援B型利用者の増加を図る

| | |
|-----------|---|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、前年度の活動により新規利用者が増加した。 ・継続B型の定員数に達したことで、新規の受け入れが難しくなってきた。 ・他機関からの見学実習の問い合わせには可能な限り対応した。 |
|-----------|---|

◎利用者の目標工賃平均月額1万円以上、平均時給額300円以上を維持する

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でカフェの営業自粛や委託先からの注文激減が売上に影響した。反面農業部のネット販売が好調を維持し、前年度の委託請負作業に加え新規契約が増えたことで前年度水準に売上げは戻った。 ・目標平均工賃1万円及び平均時給額300円を維持することができた。 |
|-----------|--|

(4) 事業運営の安定化に向けて

◎利用者数の維持および利用日数の増加をめざす

| | |
|-------|------------------------------|
| 実施内容と | ・利用者への丁寧な支援を行うことで利用者数は維持できた。 |
| その結果 | ・休日の勉強会やイベントは染対策を行い実施できた。 |

◎事務局と連携し、事業の広報活動をすすめる

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 実施内容とその結果 | 法人の通信発行が2回にとどまり事業の広報活動はできなかった。 |
|-----------|--------------------------------|

(5) 非常災害・防災対策について

◎コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、ふだんからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する

| | |
|-------|--|
| 実施内容と | マニュアルを職員向け・WS利用者ご家族向けに作成し配布した。 |
| その結果 | ⇒症状があるときは自宅療養し休む、ということが徹底されてきており、家族内感染があっても拡大を防ぎ影響を最小限にすることができた。 |

◎地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各1回ずつ実施する

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 実施内容と | ・火災訓練はGH合同で専門業者の協力で1回おこなった。(消防署協力なし) |
| その結果 | ・防災訓練は実施できなかった |

◎防災設備の操作を周知徹底する

| | |
|-----------|---------------------------|
| 実施内容とその結果 | ・専門業者立ち合い訓練 令和3年9月7日実施した。 |
|-----------|---------------------------|

(6) 職員の資質向上について

◎年間計画に沿って研修をおこない、支援技術の研鑽につとめる

| | |
|-------|------------------------------------|
| 実施内容と | ・年間計画を立て事業所別に毎月研修を実施した。 |
| その結果 | ・新採用職員3か月フォロー研修を実施し新人の職場定着に有効であった。 |

(7) その他

◎就労定着支援事業化のための具体的計画を立てる

| | |
|-----------|---------------------------|
| 実施内容とその結果 | 就労定着支援事業化には課題が多く取り組まなかった。 |
|-----------|---------------------------|

2 令和3年度利用実績(カッコ内は前年度比)

| | 就労移行支援 | 就労継続支援B型 |
|-------------|----------------|--------------|
| 年度開所日数 | 253日(+15日) | 256日(+18日) |
| のべ利用者数 | 724人(-325人) | 3608人(-99人) |
| 一日平均利用者数 | 2.9人(-1.5人) | 14.1人(-1.5人) |
| 3月末時点の利用登録者 | 2人(-2人) | 22人(+2人) |
| 新規登録者 | 2人(-1人) | 3人(+3人) |
| 退所者 | 4人(2人就職、1人B型へ) | 3人(1人移行へ) |

3 令和3年度就労支援事業会計決算

| 収入の部 | | | |
|------------|-----------|----------|------------------|
| 科目 | 合計 | 前年度比 | 備考 |
| 売上（カフェ） | 565,300 | -193,610 | わっくわくカフェ |
| 売上（調理部その他） | 1,240,070 | -186,240 | WS利用者向け昼食、イベントほか |
| 売上（製造部） | 429,015 | -284,665 | 手工芸品売上 |
| 売上（農業部） | 888,818 | 112,511 | 野菜販売売上 |
| 施設外作業収入 | 99,292 | 64,021 | 利用者の事業所外作業時の収入 |
| 除雪委託料 | 602,800 | 56,100 | |
| 委託料その他 | 1,327,796 | 427,358 | 調理、清掃、施設管理など |
| 宅配便収入 | 183,507 | -67,984 | |
| 補助金・寄付金 | 0 | -310,000 | 俱知安町飲食店支援金、寄付金 |
| その他収益 | 2,009 | -29,758 | 受取利息ほか |
| 法人内振替 | 0 | -180,000 | |
| 収入計 | 5,338,607 | -412,267 | |

| 支出の部 | | | |
|----------|-----------|----------|-------------------|
| 科目 | 合計 | 前年度比 | 備考 |
| 原価材料費 | 1,234,549 | -212,963 | 手工芸材料、農作物種子など |
| 消耗品費 | 342,832 | -80,938 | |
| 研修費・開発費 | 65,222 | 35,222 | 各部商品開発研修、商品開発 |
| 設備備品費 | 3,096 | -3,599 | 作業用テーブル、農具、除雪器具ほか |
| 水光熱費 | 112,299 | -7,701 | 調理部、カフェ |
| 車両費 | 135,987 | 46,013 | トラクター、タイヤショベル維持管理 |
| 宅配便送料 | 217,334 | -63,881 | |
| 手数料 | 141,658 | -31,951 | |
| その他経費 | 1,440 | 1,440 | 各種手数料、宅配便送料など |
| 利用者工賃・賞与 | 3,221,261 | 10,131 | |
| 支出計 | 5,475,678 | -308,227 | |

| | |
|-----------|---------|
| 収支差額 | 137,701 |
| 前期繰越正味財産額 | 975,697 |
| 当期正味財産合計 | 838,626 |

4 利用者への工賃支払状況について（就労移行支援利用者含めた全員）

◎工賃平均月額…10,290円（前年度比 +1,371円）

◎工賃平均時給額…280.5円（前年度比 +27.6円）

【個別事業報告 2】

令和3年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動報告

1 基本方針

◎当事業所の理念のもと、入居者の自立支援を継続する

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none">・個人の意思尊重・意思決定支援は支援計画に基づきおこなってきた。・利用者の気持ちの孤立化を防ぐために声掛けや受診同席を行い確認してきた。しかし、傾聴・共感する支援については不十分であり今後も研修の継続が必要である。・支援の振り返りは、支援計画のモニタリング・アセスメントの際に職員間で情報を共有し定期的におこなった。 |
|-----------|--|

◎各職員の役割を見直し、明確にしながら責任とやりがいを持てる職場運営をすすめていく

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none">・役割意識を持って業務にあたっていた。・職員体制は年度末に決めることができた。 |
|-----------|--|

2 サービスの提供について

◎定期的に支援会議をおこない、支援の定着を目指す

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none">・支援会議は定着してきた・職場内の勉強会も行われたがスケジュールの調整が課題である |
|-----------|--|

◎関係機関との継続した情報共有が支援活動に反映できるようにする

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none">・感染防止対策をおこないながら定期的な会議に参加できた。・会議参加の範囲は広がらなかった（協議会参加など） |
|-----------|--|

3 事業運営の安定化について

◎法人事務局と連携し、人事・広報・会計における体制づくりをすすめる

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none">・体制づくりは特に問題なしと思われる・退去者2名のあとの運営について区分の見直し手続きを始めるのが遅かった。（収入減につながった） |
|-----------|--|

4 非常災害・防災対策について

◎感染症対策については、日常からマニュアルに沿っておこなっていくと同時に、入居者への意識づけを定着させていく

| | |
|-----------|---|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none">・日常業務内でのマニュアルに沿った支援はおこなえた。・入居者へ訪問時説明し、マナーとしてとらえてもらった。・ワクチン接種・検査の協力を得ることはでき支援した。・衛生材料の確保・使用方法の周知をおこなった。・感染者発生時の具体的なマニュアルは完成せずシュミレーションできなかった。 |
|-----------|---|

◎地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各 1 回ずつ実施する

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、火災訓練を各 1 回実施した ・平日実施のため参加できない入居者がいたが説明をおこなった。 ・火災防止は室内禁煙者に数回にわたり面談をおこない所定の場所での禁煙に努力してもらっている。 |
|-----------|--|

5 職員の資質向上について

◎感染予防しながら積極的な職場内研修に取り組み支援力の向上をめざす

| | |
|-----------|---|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防しながら法人の職場内・オンライン研修をおこなえた。 研修内容の発表の場は設けなかったが、受講者の意識改革につながり、日常の支援のなかで表出できたのではないかと評価する。さらに表出ができるような配慮で、他の職員へも研修内容を広めることができたのではないかと考えた。 |
|-----------|---|

◎感染予防等確認のうえ、外部事業所の研修を検討する

| | |
|-----------|-------------|
| 実施内容とその結果 | ・オンラインで参加した |
|-----------|-------------|

6 入居者利用料の収支報告および清算について

◎返済方法については個別に承諾を得て実施する

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | 本人（または家族）が希望される方法で 23 人の方に、平成 27 年度から 30 年度分計 4,413,600 円及び令和 2 年度分 1,724,800 円の返済を完了した。 |
|-----------|--|

◎「家電製品更新・修繕積立金」の計画的な更新・修繕をおこなう

| | |
|-----------|--|
| 実施内容とその結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用料規程・利用料会計・利用料積立金制度について利用者に説明（令和 3 年 4 月 1 日から施行）し同意を得た。 ・令和 2 年度修繕積立金 73 万円を使うことはなかった。 ・今年度は修繕積立金 22 万円を振替。利用者返金計 443,270 円を令和 4 年度に返済する。 |
|-----------|--|

7 令和 3 年度利用実績（カッコ内は前年度比）

| | |
|--------------|-----------------|
| 年開所日数 | 365 日 |
| 年のべ利用者数 | 7,117 人（-292 人） |
| 3 月末時点の利用登録者 | 20 人（-1 人） |
| 新規登録者 | 0 人 |
| 退居者 | 1 人 |

| 入居者の利用区分 （3 月末現在） | |
|----------------------|------|
| 非該当区分 1 | 2 人 |
| 区分 2 | 11 人 |
| 区分 3 | 6 人 |
| 区分 4 | 1 人 |
| 区分 5 | 0 人 |
| 区分 6 | 0 人 |

【個別事業報告 3】

令和3年度 K.S.C. Juntos 事業活動報告

1 活動内容と結果

(1) 基本方針

- ◎登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- ◎サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- ◎フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

| | |
|------|--|
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・共和町生涯学習センターにて練習（月1回を予定） ・コンディションチェックシートを作成し参加希望者に練習日2週間前から記載 ・サポートスタッフは厚生病院職員中心で行っている |
| 活動結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、新たな練習会場を確保して練習をすることができた ・コンディションチェックシートを活用することができた ・長期活動ができる体制が作れなかった |

(2) 今年度の活動目標について

- ◎コロナウイルス感染症の影響で大会および練習ができない状態であるが、その中でも一人でできる自主練習を各選手ができるよう個別対応をする

| | |
|------|-------------------------|
| 活動結果 | ・感染症の影響が少ない屋外にて自主練習を行った |
|------|-------------------------|

- ◎選手、サポートスタッフを増員するための活動をすすめる

| | |
|------|-----------------------------------|
| 実施結果 | ・厚生病院退職のためサポートスタッフが減少している 選手は1名増員 |
|------|-----------------------------------|

(3) 活動状況

| | |
|------|---|
| 実施結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大の影響を受け、予定された大会、遠征はすべて中止 ・共和町生涯学習センター利用（4月、11月、12月） |
|------|---|

2 活動内容およびその件数

| 月日 | 活動内容 | 活動場所 | 参加人数（体験者） |
|--------|---------|--------------|-----------|
| 4月17日 | フットサル練習 | 共和町 生涯学習センター | 9人（1人） |
| 11月13日 | 同上 | 同上 | 8人（4人） |
| 12月11日 | 同上 | 同上 | 8名（6人） |

3 会員数（3月末現在）

| | |
|----------|-------|
| 当事者会員 | 8人 |
| サポートスタッフ | 4人 |
| チームサポーター | 2人 |
| スポンサー会員 | 4人・団体 |

特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

| 勘定科目 | 金額 | |
|--------------|------------|------------|
| I 経常収益 | | |
| 1. 受取会費 | | 266,000 |
| 2. 受取寄付金 | | 245,000 |
| 3. 受取助成金等 | | 977,500 |
| 4. 事業収益 | | |
| ①自立支援費収益 | 81,758,752 | |
| ②就労支援事業収益 | 3,785,861 | |
| ③参加費・負担金収益 | 57,000 | |
| 事業収益計 | | 85,601,613 |
| 5. その他収益 | | 612,001 |
| 経常収益計 | | 87,702,114 |
| II 経常費用 | | |
| 1. 事業費 | | |
| 給与手当 | 51,908,464 | |
| 法定福利費 | 7,180,606 | |
| 福利厚生費 | 505,403 | |
| 業務委託費 | 553,345 | |
| 研修費 | 72,470 | |
| 旅費交通費 | 810,020 | |
| 会議費 | 4,300 | |
| 行事費 | 53,327 | |
| 交際費 | 0 | |
| 貸借料 | 4,215,210 | |
| 水光熱費 | 4,194,666 | |
| 消耗品費 | 2,120,099 | |
| 食材費 | 2,674,702 | |
| 通信費 | 514,858 | |
| 車両費 | 709,344 | |
| 設備備品修繕費 | 317,185 | |
| 保険料 | 546,860 | |
| 諸会費 | 25,400 | |
| 支払手数料 | 71,188 | |
| 就労支援事業費 | 5,458,178 | |
| リース料 | 571,200 | |
| 租税公課 | 0 | |
| 支払利息 | 46,662 | |
| 雑費 | 0 | |
| 減価償却費 | 7,185,297 | |
| 事業費計 | | 89,738,784 |
| 2. 管理費 | | |
| 業務委託費 | 110,000 | |
| 研修費 | 43,500 | |
| 旅費交通費 | 22,480 | |
| 会議費 | 6,052 | |
| 行事費 | 0 | |
| 交際費 | 5,000 | |
| 賃借料 | 80,000 | |
| 消耗品費 | 246,019 | |
| 通信費 | 49,983 | |
| 設備修繕費 | 330,000 | |
| 諸会費 | 93,000 | |
| 支払手数料 | 7,300 | |
| 租税公課 | 21,050 | |
| 支払利息 | 94,631 | |
| 雑費 | 0 | |
| 管理費計 | | 1,109,015 |
| 経常費用計 | | 90,847,799 |
| 過年度損益収益損(返金) | 4,413,600 | 4,413,600 |
| 当期正味財産増加額 | | ▲7,559,285 |
| 前期繰越正味財産額 | | 60,895,852 |
| 次期繰越正味財産額 | | 53,336,567 |

今年度「その他の事業」はありません。

事業別活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

認定特定非営利活動法人とにも

(単位：円)

| 勘定科目 | WS | | GH | | K,S,C Juntos | 本部 | 法人全体 |
|----------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| | 運営事業 | 就労支援事業 | 運営事業 | 利用料会計 | | | |
| I 経常収益 | | | | | | | |
| 受取会費 | | | | | 0 | 266,000 | 266,000 |
| 受取寄付金 | | | | | 0 | 245,000 | 245,000 |
| 受取助成金等 | 370,500 | | 607,000 | | 0 | | 977,500 |
| 事業収益・自立支援費 | 34,068,350 | 0 | 34,647,200 | 13,043,202 | 0 | 0 | 81,758,752 |
| 訓練等給付費 | 34,068,350 | | 34,403,042 | | | | 68,471,392 |
| 利用者1割負担金 | 0 | | 234,658 | | | | 234,658 |
| 室料助成金 | | | 0 | 2,260,000 | | | 2,260,000 |
| 利用者負担金室料 | | | 0 | 4,102,308 | | | 4,102,308 |
| 利用者負担金水光熱 | | | 0 | 3,949,014 | | | 3,949,014 |
| 利用者負担金食費 | | | 0 | 2,715,600 | | | 2,715,600 |
| 利用者実費負担金 | | | 9,500 | 16,280 | | | 25,780 |
| 事業収益・就労支援事業 | | 3,785,861 | 0 | | | | 3,785,861 |
| 事業収益・参加費負担金 | 21,000 | | 0 | | | 36,000 | 57,000 |
| その他収益 | 30,588 | | 21,681 | | 0 | 559,732 | 612,001 |
| 経常収益計 | 34,490,438 | 3,785,861 | 35,275,881 | 13,043,202 | 0 | 1,106,732 | 87,702,114 |
| II 経常費用 | | | | | | | |
| 給与手当 | 25,194,892 | | 26,713,572 | | | | 51,908,464 |
| 法定福利費 | 3,582,713 | | 3,597,893 | | | | 7,180,606 |
| 福利厚生費 | 125,649 | | 379,754 | | | | 505,403 |
| 業務委託費 | 275,000 | | 278,345 | 0 | | 110,000 | 663,345 |
| 研修費 | 57,790 | | 14,680 | 0 | | 43,500 | 115,970 |
| 旅費交通費 | 739,220 | | 70,800 | 0 | | 22,480 | 832,500 |
| 会議費 | 4,300 | | 0 | 0 | | 6,052 | 10,352 |
| 行事費 | 42,618 | | 10,709 | 0 | | 0 | 53,327 |
| 交際費 | 0 | | 0 | 0 | | 5,000 | 5,000 |
| 貸借料 | 240,000 | | 0 | 3,960,000 | 15,210 | 80,000 | 4,295,210 |
| 水光熱費 | 752,022 | | 250,296 | 3,192,348 | | | 4,194,666 |
| 消耗品費 | 715,759 | | 565,597 | 838,743 | | 246,019 | 2,366,118 |
| 食材費 | 0 | | 0 | 2,674,702 | | | 2,674,702 |
| 通信費 | 303,136 | | 211,722 | | | 49,983 | 564,841 |
| 車両費 | 568,290 | | 141,054 | 0 | | | 709,344 |
| 設備備品修繕費 | 114,923 | | 202,262 | 0 | | 330,000 | 647,185 |
| 保険料 | 185,125 | | 237,625 | 116,610 | 7,500 | | 546,860 |
| 諸会費 | 3,000 | | 5,000 | 17,400 | | 93,000 | 118,400 |
| 支払手数料 | 26,773 | | 27,695 | 16,720 | | 7,300 | 78,488 |
| 就労支援事業費 | 0 | 5,458,178 | 0 | 0 | | | 5,458,178 |
| リース料 | 104,160 | | 440,640 | 26,400 | | | 571,200 |
| 租税公課 | 0 | | 0 | 0 | | 21,050 | 21,050 |
| 支払利息 | 46,662 | | 0 | 0 | | 94,631 | 141,293 |
| 雑費 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 |
| 減価償却費 | 1,856,187 | | 179,000 | 19,137 | | 5,130,973 | 7,185,297 |
| 経常費用計 | 34,938,219 | 5,458,178 | 33,326,644 | 10,862,060 | 22,710 | 6,239,988 | 90,847,799 |
| 当期経常増減額 | ▲ 447,781 | ▲ 1,672,317 | 1,949,237 | 2,181,142 | ▲ 22,710 | ▲ 5,133,256 | ▲ 3,145,685 |
| III 内部取引 | | | | | | | 0 |
| 他部門振替収入 内部家賃 | 1,818 | | | | | 4,380,000 | 4,381,818 |
| 共通経費（給与・修繕積立金） | 1,820,000 | | 220,000 | | | | 2,040,000 |
| 他部門振替支出 内部家賃 | 1,920,000 | | 540,000 | 1,920,000 | | 1,818 | 4,381,818 |
| 共通経費（給与・修繕積立金） | | | 1,820,000 | 220,000 | | | 2,040,000 |
| 補助（就労支援事業） | | | | | | | 0 |
| 内部取引計 | ▲ 98,182 | 0 | ▲ 2,140,000 | ▲ 2,140,000 | 0 | 4,378,182 | 0 |
| 過年度損益収益損（返金） | | | 4,413,600 | | | | 4,413,600 |
| 総支出額 | 35,036,401 | 5,458,178 | 39,880,244 | 13,002,060 | 22,710 | 1,861,806 | 95,261,399 |
| 当期正味財産増加額 | ▲ 545,963 | ▲ 1,672,317 | ▲ 4,604,363 | 41,142 | ▲ 22,710 | ▲ 755,074 | ▲ 7,559,285 |
| 前期繰越正味財産額 | 7,084,024 | 975,697 | 17,248,756 | 4,413 | 209,098 | 35,373,864 | 60,895,852 |
| 次期繰越財産額 | 6,538,061 | ▲ 696,620 | 12,644,393 | 45,555 | 186,388 | 34,618,790 | 53,336,567 |

特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和4年 3月31日 現在

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

| 資産の部 | | 負債及び正味財産の部 | | |
|--------------|--------------------|-------------------|-------------|--------------------|
| I 資産の部 | | II 負債の部 | | |
| 1. 流動資産 | | 1. 流動負債 | | |
| 現金 | 834,434 | 未払金 | 3,039,273 | |
| 小口現金 | 25,000 | 前受金 | 349,900 | |
| 預金 | 11,755,016 | 預り金 | 754,277 | |
| 未収金 | 11,948,374 | 未払法人税等 | 20,000 | |
| 前払金 | 2,226 | 流動負債合計 | | 4,163,450 |
| 前払費用 | 624,910 | 2. 固定負債 | | |
| 立替金 | 3,499 | 長期借入金 | 51,921,042 | |
| 流動資産合計 | 25,193,459 | 固定負債合計 | | 51,921,042 |
| 2. 固定資産 | | 負債合計 | | 56,084,492 |
| (1) 有形固定資産 | | III 正味財産の部 | | |
| 土地 | 5,071,850 | 前期繰越正味財産 | 60,895,852 | |
| 建物 | 109,785,776 | 当期正味財産増減額 | ▲ 7,559,285 | |
| 建物附属設備 | 1,432,000 | 正味財産合計 | | 53,336,567 |
| 構築物 | 1,279,081 | | | |
| 車両運搬具 | 7,232,660 | | | |
| 什器 備品 | 4,364,717 | | | |
| 減価償却累計額 | ▲ 45,034,764 | | | |
| (2) 投資その他の資産 | | | | |
| 敷金 | 80,000 | | | |
| リサイクル預託金 | 16,280 | | | |
| 固定資産合計 | 84,227,600 | | | |
| 資産合計 | 109,421,059 | 負債及び正味財産合計 | | 109,421,059 |

その他の事業会計 該当なし

【財務諸表の注記】

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法及び3年均等償却にて償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下のとおりです。

(単位：円)

| 科目 | 期首取得価額 | 取得 | 減少 | 期末取得価額 | 減価償却累計額 | 期末帳簿価額 |
|----------|-------------|----|----|-------------|--------------|------------|
| 土地 | 5,071,850 | 0 | 0 | 5,071,850 | 0 | 5,071,850 |
| 建物 | 109,785,776 | 0 | 0 | 109,785,776 | ▲ 35,351,015 | 74,434,761 |
| 建物附属設備 | 1,432,000 | 0 | 0 | 1,432,000 | ▲ 686,166 | 745,834 |
| 構築物 | 1,279,081 | 0 | 0 | 1,279,081 | ▲ 811,652 | 467,429 |
| 車両運搬具 | 7,232,660 | 0 | 0 | 7,232,660 | ▲ 4,054,308 | 3,178,352 |
| 什器 備品 | 4,364,717 | 0 | 0 | 4,364,717 | ▲ 4,131,623 | 233,094 |
| 敷金 | 80,000 | 0 | 0 | 80,000 | 0 | 80,000 |
| リサイクル預託金 | 16,280 | 0 | 0 | 16,280 | 0 | 16,280 |
| 合計 | 129,262,364 | 0 | 0 | 129,262,364 | ▲ 45,034,764 | 84,227,600 |

3. 借入金の増減内訳

借入金増減は以下のとおりです。

(単位：円)

| 科目 | 期首残高 | 当期借入 | 当期返済 | 期末残高 |
|-------------|------------|------|-----------|------------|
| 長期借入金（役員） | 860,000 | 0 | 240,000 | 620,000 |
| 長期借入金（個人） | 52,226,983 | 0 | 2,975,941 | 49,251,042 |
| 長期借入金（金融公庫） | 2,825,000 | 0 | 775,000 | 2,050,000 |
| 合計 | 55,911,983 | 0 | 3,990,941 | 51,921,042 |

特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和4年 3月31日 現在

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

| 科目・摘要 | 金額 | | |
|----------------|----------------------------------|--------------|--------------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 手元現金・小口現金 | 859,434 | |
| 普通預金 | 北洋銀行倶知安支店（本部） | 2,599,573 | |
| | 北洋銀行倶知安支店（WS） | 1,280,046 | |
| | 北洋銀行倶知安支店（就労） | 1,445,681 | |
| | 北洋銀行倶知安支店（GH） | 4,828,863 | |
| | 北洋銀行倶知安支店（Juntos） | 185,657 | |
| | 北洋銀行倶知安支店（修繕積立用） | 1,395,265 | |
| | ゆうちょ銀行 | 0 | |
| | ゆうちょ銀行振替口座 | 19,931 | |
| 未収金 | 訓練等給付費等 | 11,014,537 | |
| | 売上金等 | 933,837 | |
| 前払金 | 農業用原材料費 | 2,226 | |
| 前払費用 | 家賃・火災保険料等 | 624,910 | |
| 立替金 | 保険料 | 3,499 | |
| 流動資産計 | | | 25,193,459 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 有形固定資産 | | | |
| 土地 | | 5,071,850 | |
| 建物 | | 109,785,776 | |
| 建物付属設備 | 自動火災報知設備 | 1,432,000 | |
| 構築物 | 融雪槽地下水工事 | 1,279,081 | |
| 車両運搬具 | 送迎車ハイエース・公用車ノア・軽トラ | 7,232,660 | |
| 什器備品 | 喫茶エアコン・IHクッキングヒーター・冷凍冷蔵庫・事務室エアコン | 4,364,717 | |
| 減価償却累計額 | | ▲ 45,034,764 | |
| (2) 投資その他の資産 | | | |
| 敷金 | グループホーム住居 | 80,000 | |
| リサイクル預託金 | | 16,280 | |
| 固定資産計 | | | 84,227,600 |
| 資産合計 | | | 109,421,059 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 社会保険料 | 459,267 | |
| | 水光熱費・工賃・通所交通費他 | 1,915,536 | |
| | GH利用料返金 | 664,470 | |
| 前受金 | 利用料他 | 349,900 | |
| 預り金 | 社会保険料等 | 754,277 | |
| 未払法人税等 | | 20,000 | |
| 流動負債計 | | | 4,163,450 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 役員・個人3人・金融公庫 | 51,921,042 | |
| 固定負債計 | | | 51,921,042 |
| 負債合計 | | | 56,084,492 |
| 正味財産 | | | 53,336,567 |

その他の事業会計 該当なし

監査報告書

特定非営利活動法人ともにの 令和2年度事業・会計について監査したところ、
適正に行われておりましたのでご報告いたします。

令和4年 5月 10日 監事 中山 誠人

令和4年 5月 10日 監事 阿部 優子

第3号議案 令和4年度事業活動計画（案）に関する件

令和4年度事業活動計画（案）

1 基本方針

◎法人の経営基盤安定と職員体制づくりに注力する。

◎障害福祉サービスは、コロナ禍の中でも支援提供の継続性が求められている。国や道の方針を法人運営で徹底するとともに、感染者が出ても業務継続がなされるよう職員とともに日常的に業務の見直しを行う。

◎法人イベントは「新しい生活様式」に沿った形で、規模などを再検討し方向性を決める。

◎会員数、寄付者数を増やすため、丁寧な広報活動と具体的な働きかけを実行する。

2 事業

(1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業計画1】参照

(2) グループホームよろこび の運営 【個別事業計画2】参照

(3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業計画3】参照

3 活動

(1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

◎みんなで学ぼうシリーズ…コロナ感染状況を確認しつつ、再開を検討する

再開時は、以前の会場が使用できないため。新しい会場やスタイルの検討が必要である
俱知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催は継続する

◎地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する

月1回（5月～11月）、全7回の予定

今年度も募集定員は10名と縮小する

◎地域の支援者向けのWRAP「くらっぴ」は、コロナ感染状況を確認しつつ、会場変更を視野に入れ開催を検討する

開催時は、偶数月第4水曜日を継続する

<広報活動>

◎通信ともにの発行

障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、月1回の発行を目指す。

◎インターネット媒体の充実

ホームページ、ブログの随時更新につとめる。

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

- ◎羊蹄山ろく地域自立支援協議会 定例会に出席
 - ・ 相談支援事業担当者会議
 - ・ 地域活動支援センター夢の匠サポート部会
 - ・ 就労支援部会
 - ・ 障がい者地域包括ケアシステム検討会
 - ・ 知ってる会？
- ◎羊蹄山麓障害支援区分認定審査会（推薦）隔月
 - ◎後志圏域地域生活移行支援協議会（委嘱）
 - ◎後志保健医療福祉圏域連携推進会議（委嘱）
 - ◎倶知安町障害者施策推進協議会（推薦）
 - ◎一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 理事
 - ◎一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部 会員

(3) 講師派遣活動

- ◎法人理念に照らし検討の上積極的に協力する

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

- ◎正会員 25 人、賛助会員は団体、個人合わせて 80 人を目指す。
- ◎寄付金の目標人数はのべ 20 人以上、目標額は 50 万円以上とする。

(5) 助成金・補助金活用の活動

- ◎法人運営に有効な助成金・補助金情報収集に努める。
- ◎利用者の作業活動等向上および業務改善を目的とした助成金活用を検討、申請する

(6) 認定NPO法人活動

- ◎なぜ寄付が必要なのか、将来設計と寄付金の使いみちを明確にする。
- ◎認定 NPO 法人であることを広め、活動の賛同者を募る。
- ◎寄付金の納税還付の利点を広める。

(7) 「わっくわく」地域開放の取組み

- ◎今年度は取組を休止する。

(8) 借入金返済の取組み

- ◎事業の黒字化を維持し計画どおりの返済を実施する。

(9) 職員の働く意欲向上を目指す。

- ◎キャリアパス制度の研修制度の充実と評価制度を再構築する。
- ◎福利厚生を充実し、働く環境の整備を行う。
- ◎職員のストレスチェックを導入し、年 1 回は全職員対象の理事長面談を実施する。

(10) 防災対策を定期的実施する。

◎新型コロナウイルス感染症の防止対策を定期的に見直し常に実行できているか点検する。

◎火災訓練を年 1 回以上実施する。また事業所単位で防災教育を実施する。

◎地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所単位で実施する。

【個別事業計画 1】

令和4年度

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい（WS） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- ◎WSの経営理念及び経営姿勢と行動指針を常に意識し、利用者支援を行う。
- ◎利用者の工賃向上をめざし、各部の収益増になる取組を職員協同し行う。
- ◎コロナ感染対策を取りつつ利用者の交流活動を実施し、笑顔多い利用につなげる。

2 就労移行支援のサービス提供について

- ◎就労移行支援利用者の利用増を目指す。
- ◎積極的に一般就労を目指す支援をおこなう。
- ◎実践的なトレーニングプログラムを継続する。
履歴書添削、ハローワーク同行、トレーニングプログラム研修の実施ほか

3 就労継続支援B型のサービス提供について

- ◎作業内容や作業態度を見守り、利用者の作業意欲向上につながるよう支援する。
- ◎利用者が望む支援になっているか、関係機関と連携し改善を図る。
- ◎利用者の新規受け入れについては定員超過にならないよう関係機関と調整を図る。
- ◎利用者の目標工賃は平均月額1万円以上、平均時給額300円以上を維持する。
- ◎作業評価を実施し、作業工賃時給額を見直しベースアップを行う。

4 事業運営の安定化について

- ◎利用者数の維持および利用日数の増加をめざす。
- ◎利用者の平均工賃によってサービスの報酬額が変わるため、就労支援事業会計の収益増につながる取組を法人全体で応援する。

5 非常災害・防災対策について

- ◎コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、マニュアルの整備と日常的に感染対策の検証を行う。
- ◎地震および洪水を想定した防災訓練および火災訓練を年1回以上実施する。
- ◎防災設備の操作が職員全員できるように定期的に訓練する。

6 職員の資質向上について

- ◎法人研修担当者が年間計画を作成し、計画に沿って研修を実施する。
- ◎外部研修参加については業務と位置づけることから、研修担当者が参加職員を決め管理者と業務調整を行う。

7 その他

- ◎就労定着支援事業についての検討は、令和4年度は保留する。

【個別事業計画 2】

令和4年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- ◎当事業所の理念のもと、入居者の自立支援を継続する
- ◎各職員の役割を見直し、明確にしながらか責任とやりがいを持てる職場運営をすすめていく

2 サービスの提供について

- ◎定期的な支援会議をおこない、定着化していく
- ◎関係機関との継続した情報共有が支援活動に反映できるようにする

3 事業運営の安定化について

- ◎法人事務局と連携し、人事・広報・会計における体制づくりをすすめる

4 非常災害・防災対策について

- ◎感染症対策については日常からマニュアルに沿っておこなっていくと同時に入居者への意識づけを定着させていく
- ◎災害に対する防災訓練は年1回以上、火災時の火災訓練を年2回以上おこない入居者への意識づけをさらに図っていく

5 職員の資質向上について

- ◎感染予防をしながら積極的な所内研修に取り組み支援力の向上をめざす
- ◎感染予防等確認のうえ、外部事業所の研修を検討する

6 入居者利用料の収支報告および清算について

- ◎利用料規程に則り個別に承諾を得て実施する
- ◎「家電製品更新・修繕積立金」の計画的な更新・修繕をおこなう

【個別事業計画 3】

令和3年度 K.S.C. Juntos 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

2 活動目標

- サポートスタッフを充実し、体制作りをすすめる
- 継続した練習や練習試合ができるよう、活動場所の確保につとめる
- 感染症対策を万全にし、練習や大会に参加する
- とともにカップの開催に向けて検討を続ける

3 活動計画（感染症の状況により延期、中止の場合あり）

| 日付 | 名称・内容 | 開催地（予定） |
|--------|----------------------|--------------|
| 不定期 | 自主練習 | 選手各自 |
| 7月3日 | 北海道チャンピオンズカップ | 北ガスアリーナ札幌 46 |
| 秋ごろ | 第5回ソーシャルフットボールともにカップ | 未定 |
| 12月18日 | ソーシャルフットボールサポーターズカップ | 札幌市北区体育館 |

※その他練習試合など

【個別事業計画 3】

令和4年度 K.S.C. Juntos 事業活動計画（案）

1 基本方針

- ◎登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- ◎サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- ◎フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

2 活動目標

- ◎サポートスタッフを充実し、体制作りをすすめる
- ◎継続した練習や練習試合ができるよう、活動場所の確保につとめる
- ◎感染症対策を万全にし、練習や大会に参加する
- ◎ともにカップの開催に向けて検討を続ける

3 活動計画（感染症の状況により延期、中止の場合あり）

| 日付 | 名称・内容 | 開催地（予定） |
|--------|----------------------|--------------|
| 毎月1回 | 通常練習 | 共和町 生涯学習センター |
| 不定期 | 自主練習 | 未定 |
| 不定期 | 地方遠征 | 小樽、札幌、帯広、名寄 |
| 7月3日 | 北海道チャンピオンズカップ | 北ガスアリーナ札幌 46 |
| 秋ごろ | 第5回ソーシャルフットボールともにカップ | 未定 |
| 12月18日 | ソーシャルフットボールサポーターズカップ | 札幌市北区体育館 |

※その他練習試合など

特定非営利活動に係る事業会計活動予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

| 勘定科目 | 金額 | |
|------------|------------|-------------|
| I 経常収益 | | |
| 1. 受取会費 | | 450,000 |
| 2. 受取寄付金 | | 500,000 |
| 3. 受取助成金等 | | 790,000 |
| 4. 事業収益 | | |
| ①自立支援費収益 | 88,000,000 | |
| ②就労支援事業収益 | 6,000,000 | |
| ③参加費・負担金収益 | 40,000 | |
| 事業収益計 | | 94,040,000 |
| 5. その他収益 | | 100,000 |
| 経常収益計 | | 95,880,000 |
| II 経常費用 | | |
| 1. 事業費 | | |
| 給与手当 | 56,000,000 | |
| 法定福利費 | 7,500,000 | |
| 福利厚生費 | 530,000 | |
| 業務委託費 | 1,950,000 | |
| 研修費 | 80,000 | |
| 旅費交通費 | 770,000 | |
| 会議費 | 5,000 | |
| 行事費 | 80,000 | |
| 交際費 | 0 | |
| 貸借料 | 4,230,000 | |
| 水光熱費 | 4,400,000 | |
| 消耗品費 | 2,050,000 | |
| 食材費 | 2,700,000 | |
| 通信費 | 400,000 | |
| 車両費 | 770,000 | |
| 設備備品修繕費 | 450,000 | |
| 保険料 | 538,000 | |
| 諸会費 | 28,400 | |
| 支払手数料 | 80,000 | |
| 就労支援事業費 | 6,000,000 | |
| リース料 | 580,000 | |
| 租税公課 | 0 | |
| 支払利息 | 50,000 | |
| 雑費 | 5,000 | |
| 減価償却費 | 7,230,000 | |
| 事業費計 | | 96,426,400 |
| 2. 管理費 | | |
| 業務委託費 | 140,000 | |
| 研修費 | 15,000 | |
| 旅費交通費 | 25,000 | |
| 会議費 | 6,000 | |
| 行事費 | 10,000 | |
| 交際費 | 5,000 | |
| 貸借料 | 80,000 | |
| 消耗品費 | 100,000 | |
| 通信費 | 50,000 | |
| 設備修繕費 | 0 | |
| 諸会費 | 93,000 | |
| 支払手数料 | 10,000 | |
| 租税公課 | 21,000 | |
| 支払利息 | 95,000 | |
| 雑費 | 0 | |
| 管理費計 | | 650,000 |
| 経常費用計 | | 97,076,400 |
| 当期正味財産増加額 | | ▲ 1,196,400 |
| 前期繰越正味財産額 | | 53,792,125 |
| 次期繰越正味財産額 | | 52,595,725 |

今年度「その他の事業」は予定ありません。

事業別活動予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

認定特定非営利活動法人ともに

(単位：円)

| 勘定科目 | WS | | GH | | K.S.C Juntos | 本部 | 法人全体 |
|-----------------------------|------------|-----------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| | 運営事業 | 就労支援事業 | 運営事業 | 利用料会計 | | | |
| I 経常収益 | | | | | | | |
| 受取会費 | | | | | 50,000 | 400,000 | 450,000 |
| 受取寄付金 | | | | | | 500,000 | 500,000 |
| 受取助成金等 | 790,000 | | | | | 0 | 790,000 |
| 事業収益・自立支援費 | 36,000,000 | | 38,000,000 | 14,000,000 | | | 88,000,000 |
| 事業収益・就労支援事業 | | 6,000,000 | | | | | 6,000,000 |
| 事業収益・参加費負担金 | | | | | | 40,000 | 40,000 |
| その他収益 | | | | | | 100,000 | 100,000 |
| 経常収益計 | 36,790,000 | 6,000,000 | 38,000,000 | 14,000,000 | 50,000 | 1,040,000 | 95,880,000 |
| II 経常費用 | | | | | | | |
| 給与手当 | 26,000,000 | | 30,000,000 | | | | 56,000,000 |
| 法定福利費 | 3,600,000 | | 3,900,000 | | | | 7,500,000 |
| 福利厚生費 | 150,000 | | 380,000 | | | | 530,000 |
| 業務委託費 | 1,100,000 | | 800,000 | 50,000 | | 140,000 | 2,090,000 |
| 研修費 | 60,000 | | 20,000 | 0 | | 15,000 | 95,000 |
| 旅費交通費 | 700,000 | | 70,000 | 0 | | 25,000 | 795,000 |
| 会議費 | 5,000 | | 0 | 0 | | 6,000 | 11,000 |
| 行事費 | 50,000 | | 30,000 | 0 | | 10,000 | 90,000 |
| 交際費 | 0 | | 0 | 0 | | 5,000 | 5,000 |
| 貸借料 | 240,000 | | 0 | 3,960,000 | 30,000 | 80,000 | 4,310,000 |
| 水光熱費 | 750,000 | | 250,000 | 3,400,000 | | | 4,400,000 |
| 消耗品費 | 650,000 | | 500,000 | 850,000 | 50,000 | 100,000 | 2,150,000 |
| 食材費 | 0 | | 0 | 2,700,000 | | | 2,700,000 |
| 通信費 | 250,000 | | 150,000 | 0 | | 50,000 | 450,000 |
| 車両費 | 600,000 | | 150,000 | 0 | 20,000 | | 770,000 |
| 設備備品修繕費 | 200,000 | | 200,000 | 50,000 | | | 450,000 |
| 保険料 | 180,000 | | 230,000 | 120,000 | 8,000 | | 538,000 |
| 諸会費 | 6,000 | | 5,000 | 17,400 | | 93,000 | 121,400 |
| 支払手数料 | 30,000 | | 30,000 | 20,000 | | 10,000 | 90,000 |
| 就労支援事業費 | 0 | 6,000,000 | 0 | 0 | | | 6,000,000 |
| リース料 | 100,000 | | 450,000 | 30,000 | | | 580,000 |
| 租税公課 | 0 | | 0 | 0 | | 21,000 | 21,000 |
| 支払利息 | 50,000 | | 0 | 0 | | 95,000 | 145,000 |
| 雑費 | 0 | | 0 | 5,000 | | 0 | 5,000 |
| 減価償却費 | 1,900,000 | | 180,000 | 20,000 | | 5,130,000 | 7,230,000 |
| 経常費用計 | 36,621,000 | 6,000,000 | 37,345,000 | 11,222,400 | 108,000 | 5,780,000 | 97,076,400 |
| 当期経常増減額 | 169,000 | 0 | 655,000 | 2,777,600 | ▲ 58,000 | ▲ 4,740,000 | ▲ 1,196,400 |
| III 内部取引 | | | | | | | |
| 他部門振替収入 <small>内部家賃</small> | | | | | | 4,380,000 | 4,380,000 |
| 共通経費（給与・修繕積立金） | 1,820,000 | | 200,000 | | | | 2,020,000 |
| 他部門振替支出 <small>内部家賃</small> | 1,920,000 | | 540,000 | 1,920,000 | | | 4,380,000 |
| 共通経費（給与・修繕積立金） | | | 1,820,000 | 200,000 | | | 2,020,000 |
| 内部取引計 | ▲ 100,000 | 0 | ▲ 2,160,000 | ▲ 2,120,000 | 0 | 4,380,000 | 0 |
| 総支出額 | 36,721,000 | 6,000,000 | 39,505,000 | 13,342,400 | 108,000 | 1,400,000 | 97,076,400 |
| 当期正味財産増加額 | 69,000 | 0 | ▲ 1,505,000 | 657,600 | ▲ 58,000 | ▲ 360,000 | ▲ 1,196,400 |
| 前期繰越正味財産額 | 5,910,335 | 838,626 | 12,236,971 | 46,115 | 186,388 | 34,573,690 | 53,792,125 |
| 次期繰越財産額 | 5,979,335 | 838,626 | 10,731,971 | 703,715 | 128,388 | 34,213,690 | 52,595,725 |

第5号議案 各種規程の改定に関する件

令和3年度及び今総会までに以下の規程の改定を行ったことを報告する。

各規程の新旧対照表及び改定後の規程は別紙参照。

| | 規程名 | 改定月日 | 改定の主な理由 | 参考 |
|---|------------------------------------|----------|---|--------------------------------------|
| 1 | 障がい者就労支援事業 所ワークショップよう てい運営規程 | R4年3月1日 | ①臨時開所を考慮した記載に ②提供できないサービスを明記 ③工賃の支払いに関し工賃支払規程 を新設 ④個人情報の保護及び苦情解決の条 文を新設 ⑤実地監査において従業員の員数が 実態と異なっていると指摘から 職員数が変わっても記載の変更が 不要な「〇〇人以上」に改定。 | 別紙 1-1 別紙 1-2 |
| 2 | グループホームよろこ び運営規程 | R4年3月1日 | 上記⑤に同じ | 別紙 2-1 別紙 2-2 |
| 3 | 給与規程 | R4年4月15日 | 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付 金及び特定処遇改善加算の申請にあ たりベースアップ等の賃金改善内容 の明記が必要であったため | 別紙 3-1 別紙 3-2 別紙 3-3 別紙 3-4 |
| 4 | 育児・介護休業等に関 する規則 | R4年4月25日 | 経営状況の改善のため、育児短時間勤 務を取得した場合の賃金について、労 働時間数に応じた給与及び賞与の算 定に変更した。 | 別紙 4-1 別紙 4-2 |

第6号議案 定款の変更に関する件

新型コロナウイルス感染症対策のため、書面や電子メールで会議（ここでは総会および理事会を指す。定款第20条参照）の表決を行う「みなし会議」を定義するため、次のように定款の変更を行う。

※変更（案）の定款は別紙5参照

| 旧 | 新 |
|--|---|
| <p>第27条（議決）</p> <p>1 略</p> <p>2 新設</p> <p>第28条（表決等）</p> <p>やむを得ない理由のため会議に出席できない構成員は、他の出席構成員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>2 略</p> <p>第29条（議事録）</p> <p>会議を開会したときは、次に掲げる事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1)～(2) 略</p> <p>(3) 会議に出席した構成員の数及び、理事会にあってはその氏名の氏名（表決の委任者を含む。）</p> <p>(4)～(6) 略</p> <p>2 略</p> <p>3 新設</p> | <p>第27条（議決）</p> <p>1 略</p> <p>2 <u>ただし構成員の全員が書面又は電子メールにより同意の表決を行ったときは、議事を可決する旨の議決があったものとみなす。</u></p> <p>第28条（表決等）</p> <p>やむを得ない理由のため会議に出席できない構成員は、<u>あらかじめ通知された書面又は電子メールをもって表決し、又は他の出席構成員を代理人として表決を委任することができる。</u></p> <p>2 略</p> <p>第29条（議事録）</p> <p>会議を開会したときは、次に掲げる事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1)～(2) 略</p> <p>(3) 会議に出席した構成員の数及び、理事会にあってはその氏名（<u>書面又は電子メールによる表決者若しくは表決の委任者を含む。</u>）</p> <p>(4)～(6) 略</p> <p>2 略</p> <p>3 <u>前2項の規定に関わらず、構成員全員が書面により同意の意思表示をしたことにより決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。</u></p> <p>(1) <u>会議の決議があったものとみなされた事項の内容</u></p> <p>(2) <u>前号の事項の提案をした者の氏名又は名称</u></p> <p>(3) <u>会議の決議があったものとみなされた日</u></p> <p>(4) <u>議事録の作成に係る職務を行った者の氏名</u></p> |